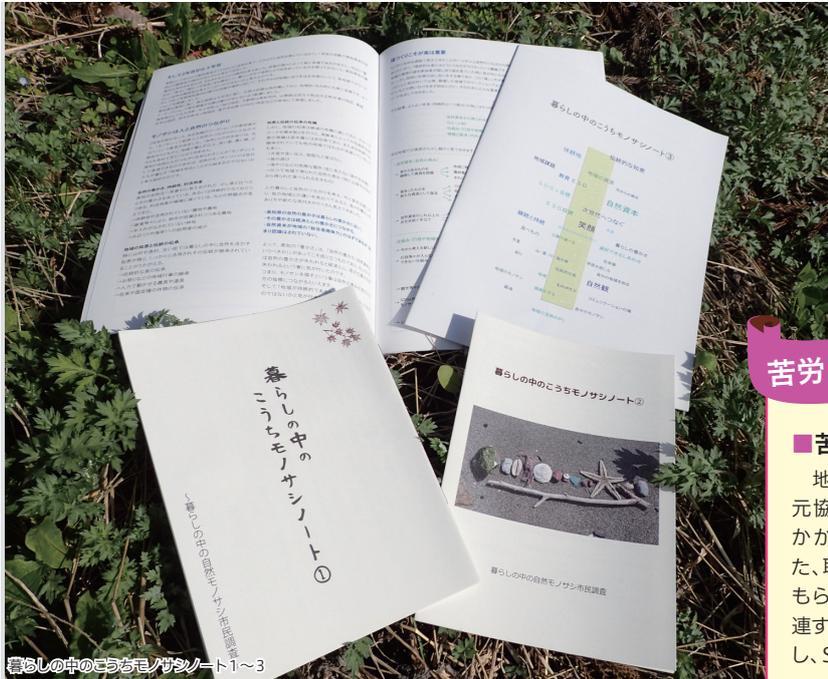


高知県における『暮らしの中の自然モノサシ市民調査』の仕組みづくり

〒780-0935
高知県高知市旭町三丁目115番
こうち男女共同参画センター 3F
電話:088-802-2201
E-mail:info@sizenmonosasi.org
http://npo-kankyonomori.com/



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



暮らしの中のこうちモノサシシート1~3

地域ワークショップ開催	6回
収集したモノサシキーワード	300個
今年度計画の達成度	100%
活動の全体目標に対する達成度	90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

地域での展開の際に地元協力者とどうつながるかがネックとなった。また、取り組みを広く知ってもらうために積極的に関連するイベント等々へ参加し、SNS等を活用した。

■ 工夫した点

関連するイベントや会議、シンポジウム等々へ参加し、広く関係性をつくり、キーパーソンの掘り起こしに務めた。イベント参加は直接的な広報にもつながる。

課題

高知において暮らしの中で『自然の豊かさ』を実感するとともに、脆弱性を意識できるようになることを目的に、『自然の豊かさ』を実感するためのモノサシの手法開発をめざす。

目標

日常の暮らしの中で個人あるいは地域や集団での自然の豊かさの『自然モノサシ』ができ、また同時に問題点が見えること。

活動内容と成果

地域独自のモノサシは7か所の地域においてそれぞれ複数できた。大月町の「笑顔」、四万十町中津川地区の「地域資源を活かすこと」、中土佐町上ノ加江地区の「地域神社の祭り継続」や「地域伝統食に関する継承」、高知市においては子育て世代のグループによる「選ぶ事」、香美市複数地区の「休耕田の解消」、奈半利町米ヶ岡地区の「地域主催のイベント」、室戸市日南(ひなた)地区では「地域持続の計画づくり」。

個人や家族における「自分の中でのモノサシ」については地域型のワークショップやイベント等で300個程度集まった。

全助成期間の活動を振り返って

暮らしの中で『自然の豊かさ』を実感し、同時にその危うさも意識することができる「市民調査の手法開発＝モノサシを作る」という活動の3年間が終わり、市民の手でモノサシを作る手法は見えてきた。そのモノサシを活用する地域計画を実際に行うことや高知県の資源である自然の危うさを広く県民に伝えるところまではたどり着かなかったが、この事業が刺激となり県内で新たな動きが始まったことは喜ばしく今後の展開につなげていきたい。



子育て世代によるワークショップの様子



アースデイ高知への出展

今後の展望

地域でのワークショップ開催や地域イベント参加によりつながりのできた地域や取り組みの継続を行い、モノサシづくりから地域計画への発展をめざす。その後、横展開的な波及効果をねらい、連携団体や助成金、独自財源等々を活用し、モノサシを作るという市民調査の手法を磨く。また、世界のモノサシとも言えるSDGs目標等も活用し、自然資本を自立主体とした地域づくりの手法も開発も継続する。